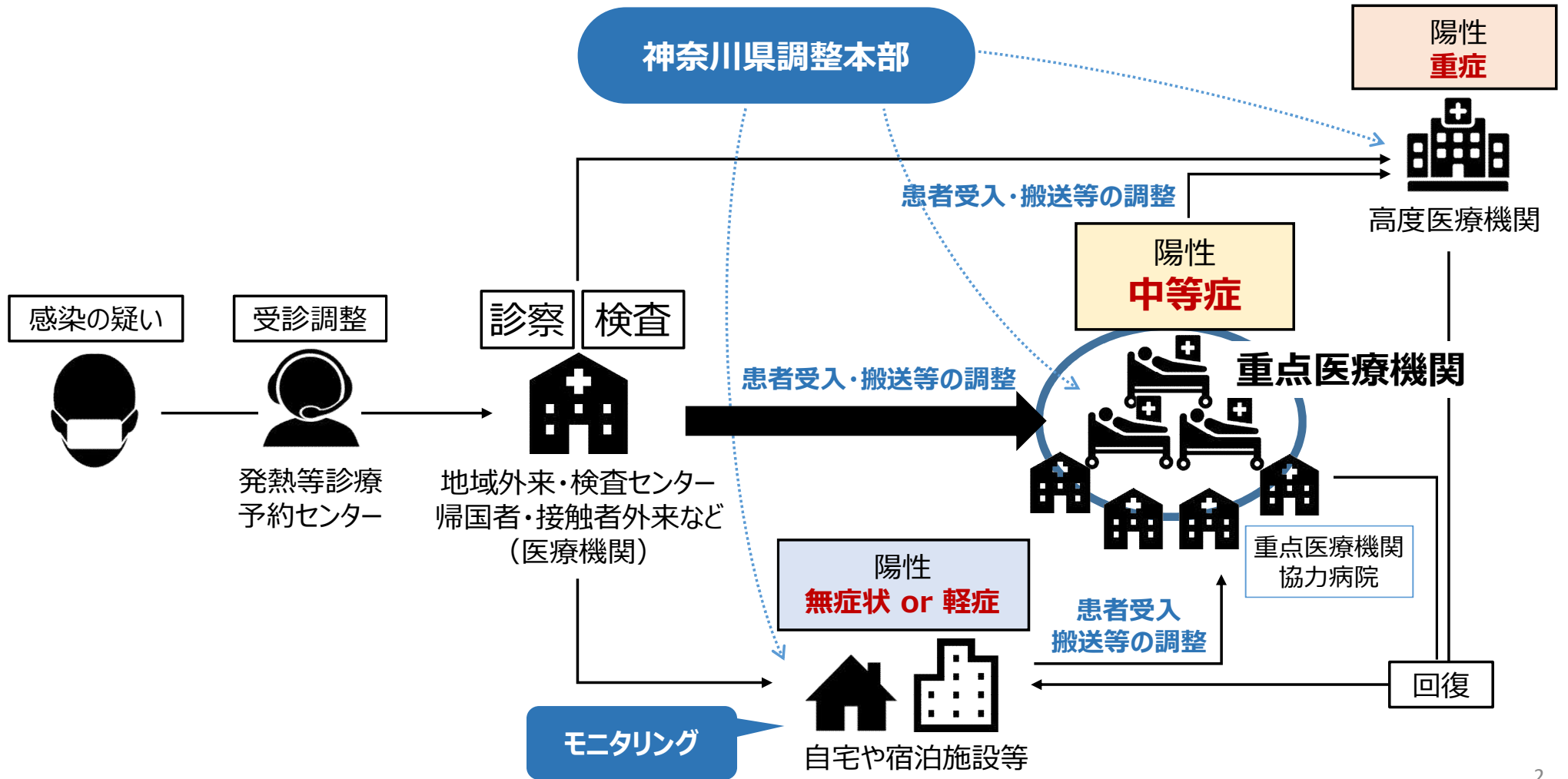


新型コロナウイルス感染症対策の医療提供体制「神奈川モデル」

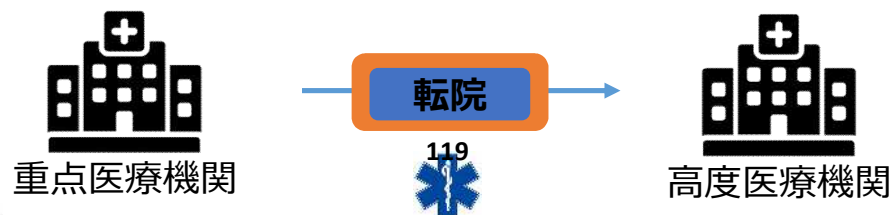
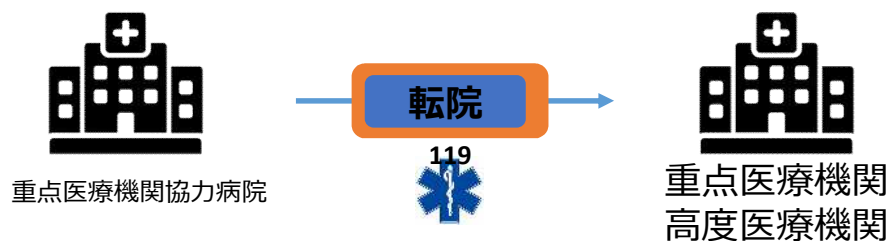


神奈川県における搬送体制について

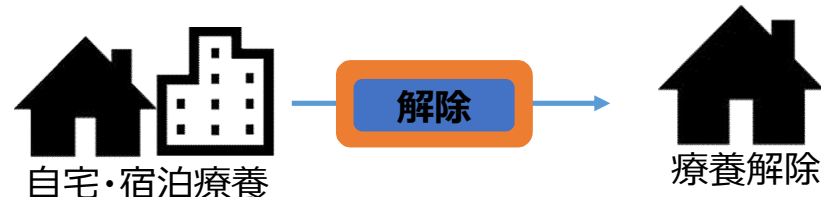
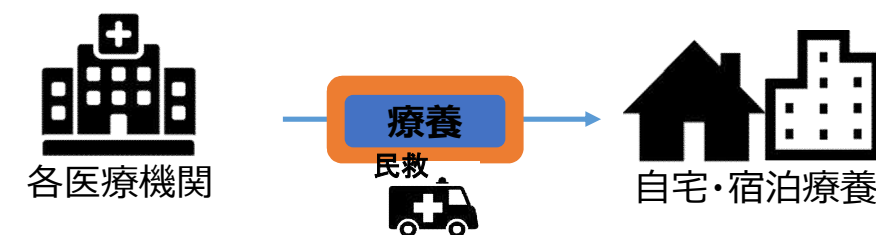
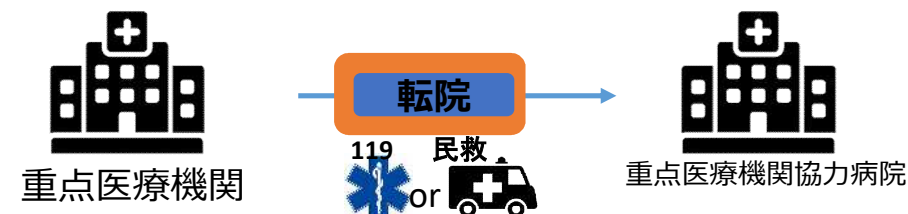
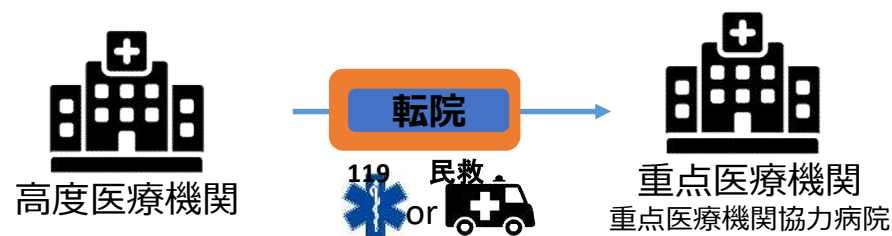
上り搬送ケース



原則、コロナ119番が受信した後、内容を判断して119番を案内



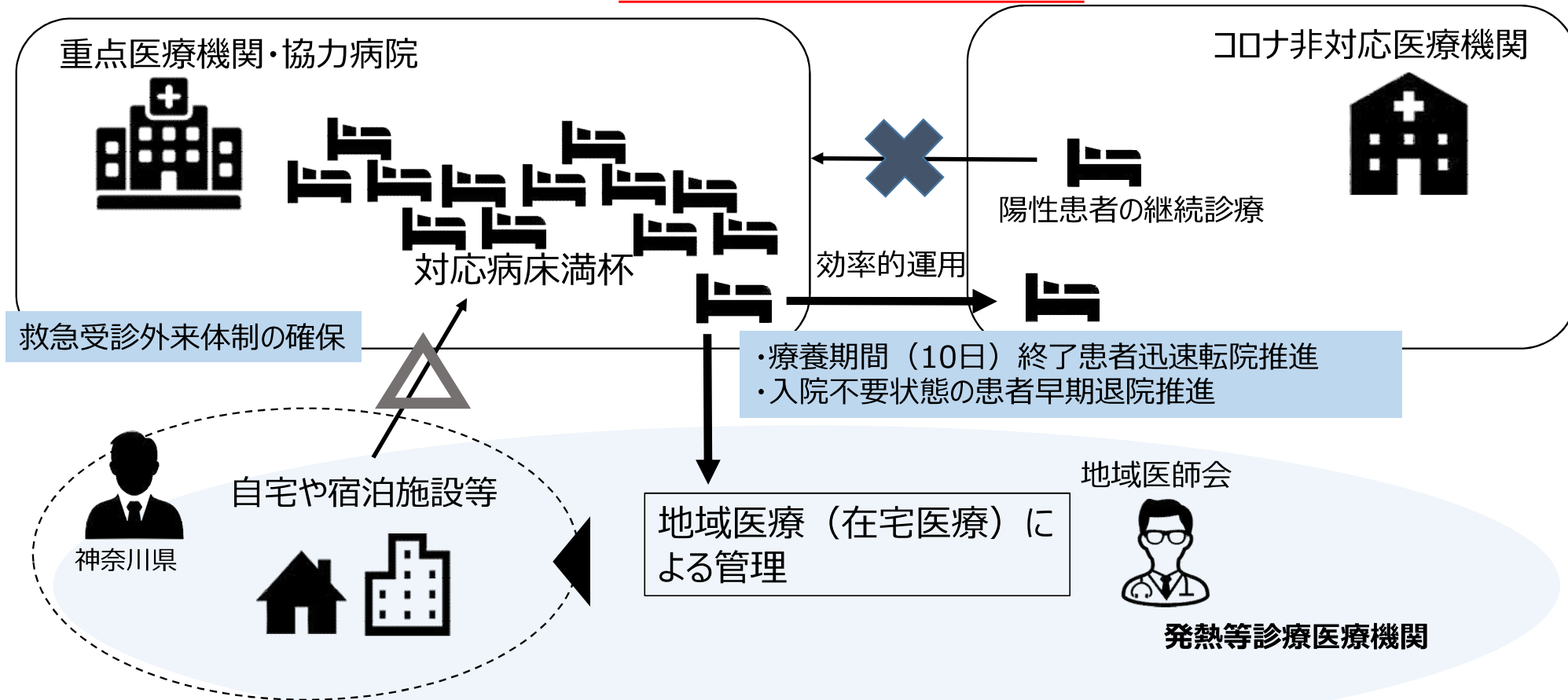
下り搬送ケース



爆発的増加と長期化の対応

日常的な医療資源の再投入

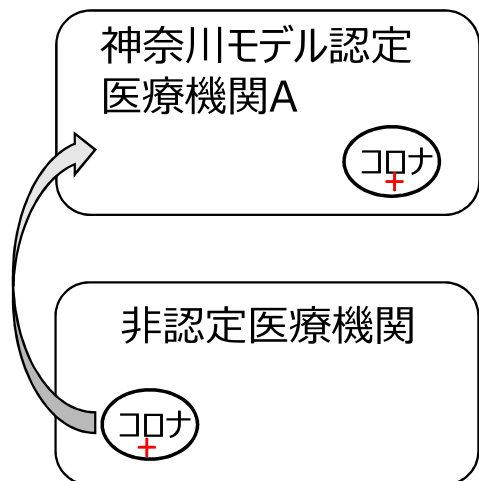
膨大な医療ニーズに全参加・各々 **適切な役割分担の見直し**と効率的な運用



神奈川モデル認定医療機関の在り方変更

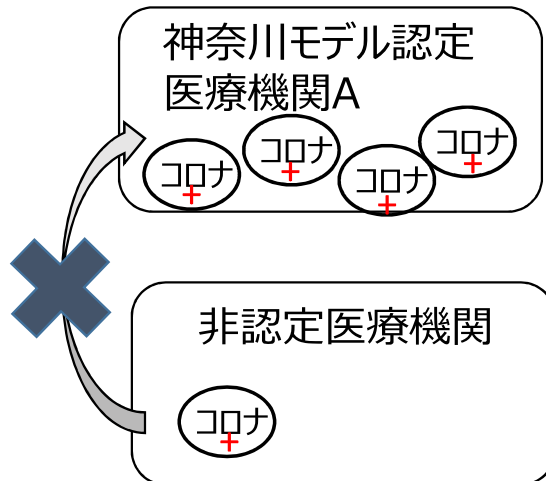
神奈川モデル認定医療機関A（コロナ陽性患者を受け入れる病院）がコロナ陽性患者でいっぱいなために新規患者の受け入れ困難になった。

従来



・コロナ陽性患者は認定医療機関Aに転院

感染爆発

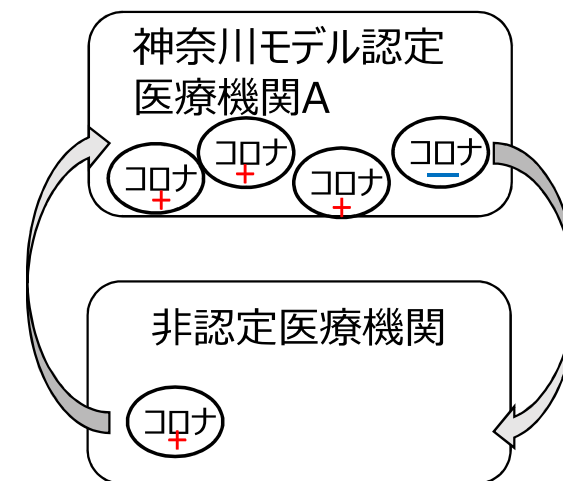


・認定医療機関Aがコロナ陽性患者により満床
・認定医療機関以外の病院でコロナ陽性患者を継続診療せざるを得ない

非認定医療機関は認定医療機関Aに

or

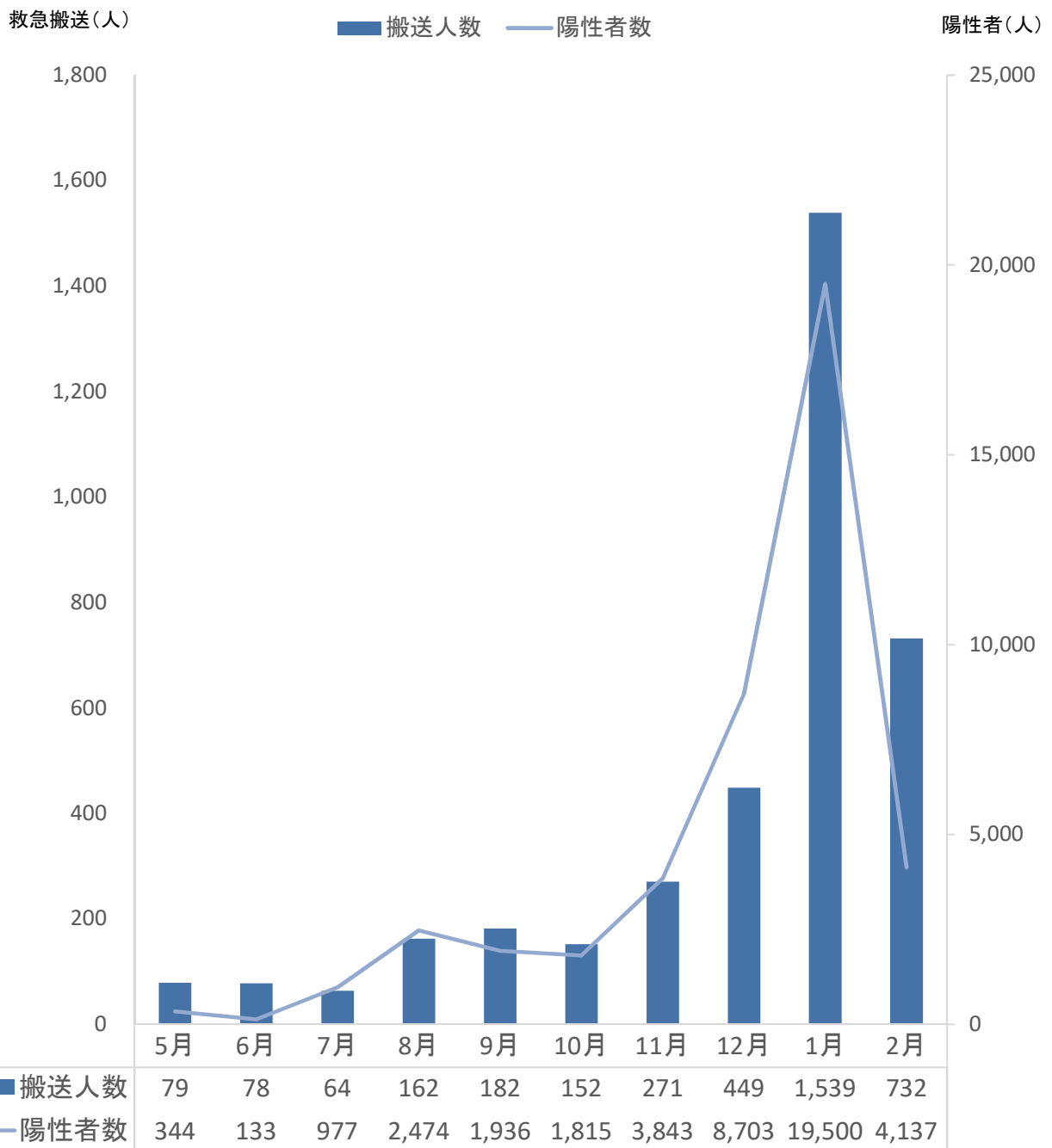
感染爆発



・認定医療機関Aがコロナ陽性患者により満床
・非認定医療機関の病院へ療養期間を終えた患者を転院
・代わりにコロナ陽性患者を転院

非認定医療機関は認定医療機関Bに

1. 県内における新型コロナウイルス感染者の推移 (R2.5月～R3.2月)



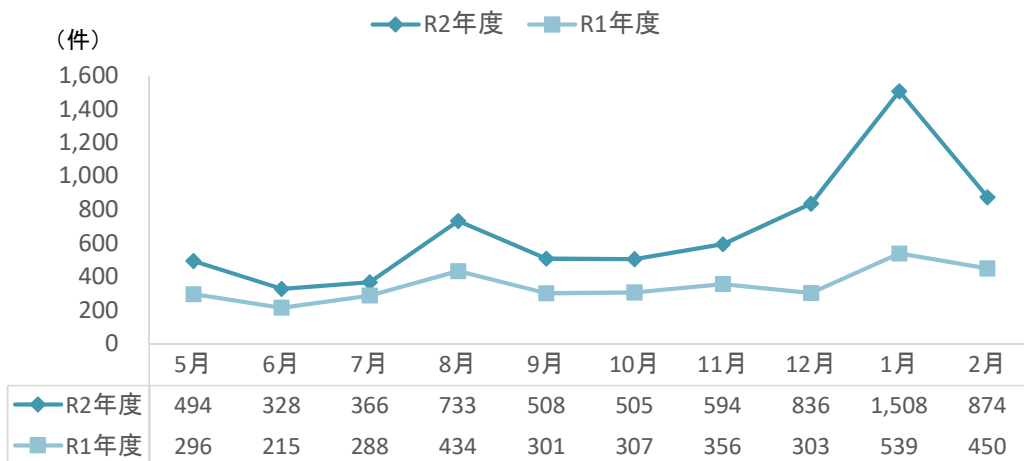
※搬送人員…行政救急が、新型コロナウイルス感染症陽性者を取り扱った人数

※陽性者数…県内で新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けた人数

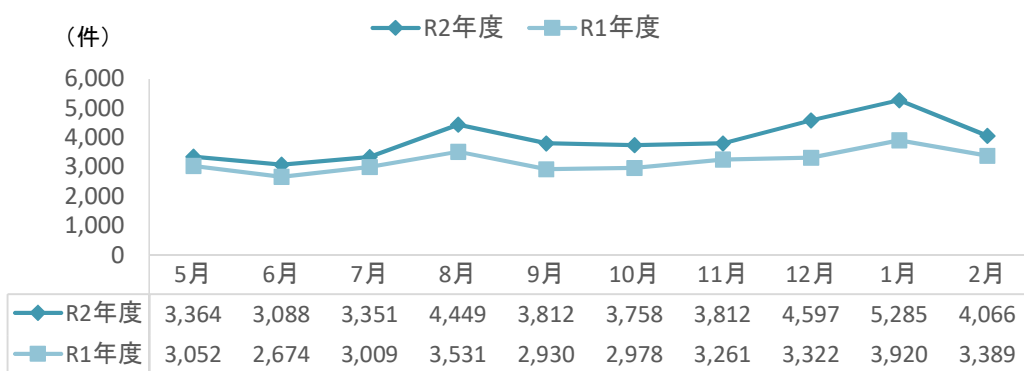
2. 新型コロナウイルス感染症に伴う救急搬送困難事案に係る 状況調査結果(県内3政令市消防局合計値の推移) (R1年度とR2年度の5月～2月期比較)

※調査背景:新型コロナウイルス感染症の臨床的な特徴に鑑み、発熱等を伴う傷病者への対応に関して、今般、受入医療機関の決定に苦慮する事案が報告されていることから、消防庁が実態把握及び関係機関における必要な対策の検討に活用することを目的として実施している調査となります。

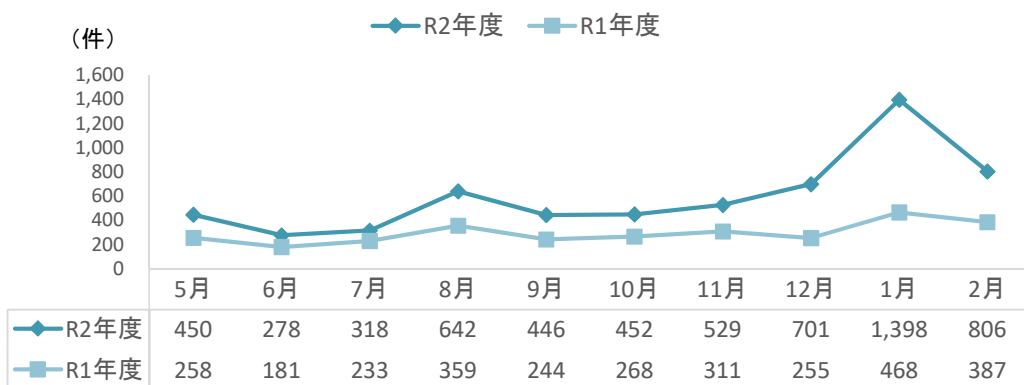
① 医療機関への受入照会回数4回以上の事案(A)



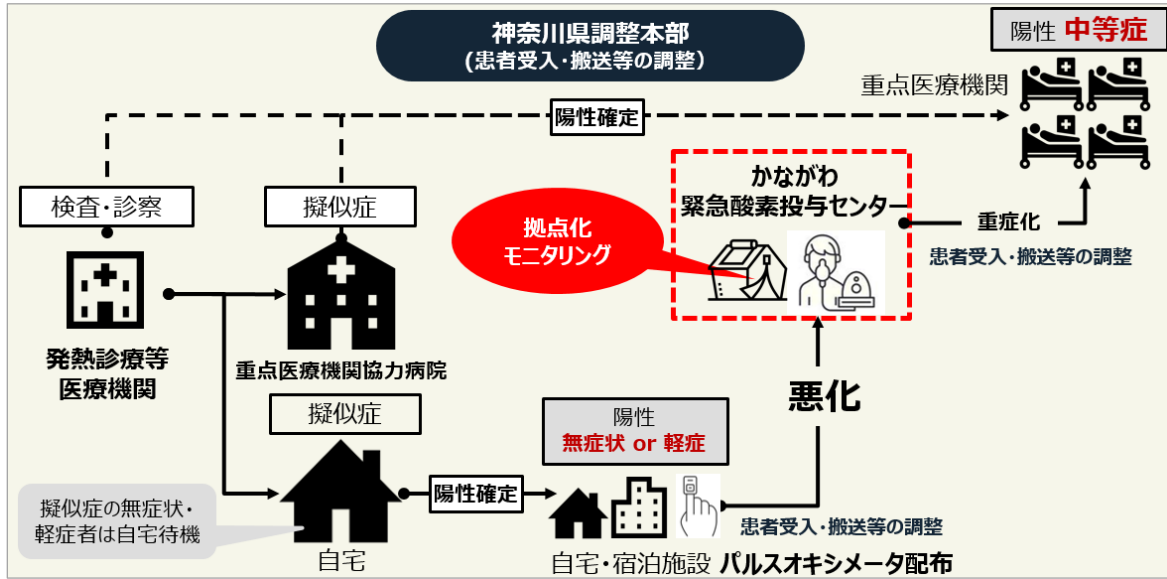
② 現場滞在時間30分以上の事案(B)



③ AかつBの事案



【参考】本施設の位置付け概念図



(R3.1.18 神奈川県感染症対策協議会資料を一部修正)

問合せ先

(かながわ緊急酸素投与センターに関すること)

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室

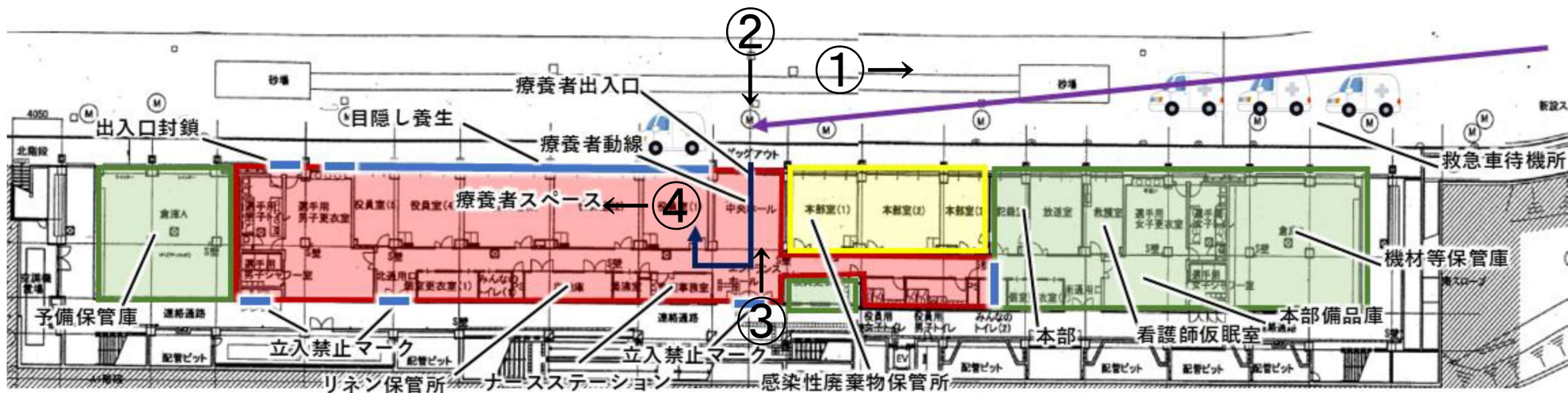
災害医療担当課長 夏目 電話 045-285-0656

災害医療グループ 遠藤 電話 045-210-4634

(取材に関すること)

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室

医療危機対策調整担当課長 本間 電話 045-285-0698



【写真位置図】



① 救急車進入経路



② 傷病者搬送入口



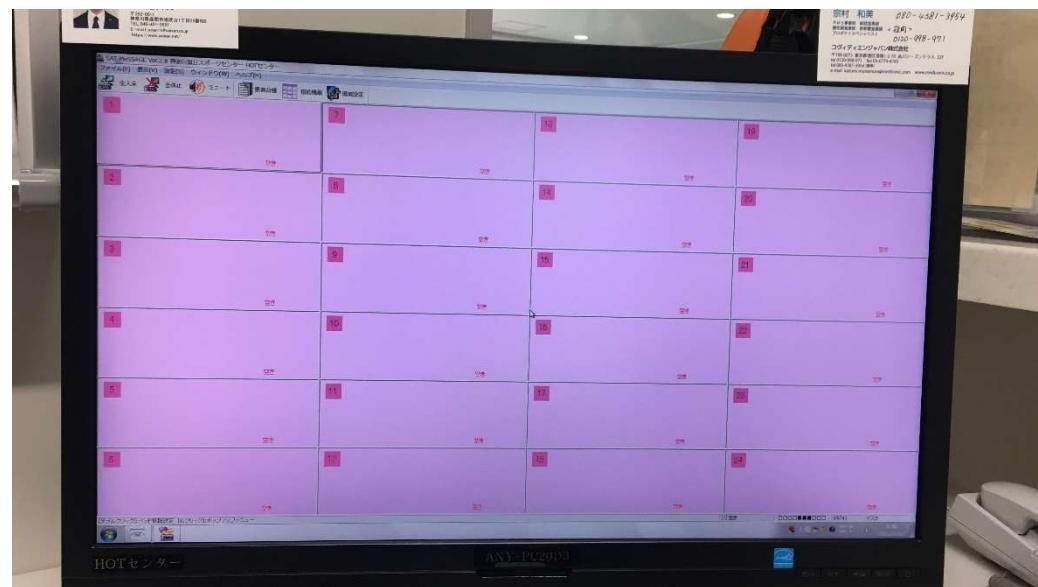
③ 傷病者引継ぎスペース（中央ホール）



④ 療養者スペース



療養者スペース内設置ベッド



ナースステーション内設置モニター

(各患者のバイタルを表示)